

クラス担任のための Career Guidance

2014 >> VOL.20

キャリアガイダンス 特別編集



クラスを活性化させる

自由に発言できる話し合いの作り方

話し合いができないのではなく話し合いをさせていない!?

生徒が安心して自分の考えを発言できる雰囲気を作れると、クラスが活性化されるもの。そこで今回は、自由に発言できる話し合いの場作りについて考えてみたいと思います。

取材文 / 清水由佳(ライター・キャリアカウンセラー)

隣の人との意見交換から段階を踏んで徐々に全体シェアへ

最近、大学生の新卒採用試験では、ディスカッションやグループワークを課す企業が増えている。民間企業だけでなく公務員試験でも同様の傾向があり、多くの学生が「苦手」と戸惑う。苦手意識を抱く最大の理由は、それまでの学生生活の中でディスカッション経験があまりないから。また、話し合いの場があったとしてもあまり積極的に発言せず、それで事足りてしまった学生も少なくない。

新しい学習指導要領では言語活動の充実がうたわれ、教科の中で説明、論述や討論を取り入れることとなったが、学校生活の中で他人と意見交換する習慣を身につけていくことは、いざ社会に出るにあたって非常に重要な経験だといってもいい。

「例えば高校で文化祭などの行事に関して話し合う場合、司会者1人対その他大勢40人といった図式だった

り、先生がすべて仕切って答えを誘導してたり。本来の話し合いにはまったくないことが多いのではないのでしょうか」とは、元千葉県立東葛飾高校教諭で、現在はさまざまなワークショップのファシリテーターとして活躍する福島毅先生。1対40の形式の場合、「見生徒は話し合いに参加しているように見えるが、結局声の大きい生徒の意見が通り、実際には何も話し合っていないことになりがち。そのため、全員の納得感がなく、決まったりはいいがその後何も動かず、不満が噴出する……といったことも少なくない。

「生徒が意見を出さないから仕方ない」とあきらめてしまっている先生もいらっしゃるのではないのでしょうか。でも、この場合、話し合いの場作りを再考する必要があります。話し合いの進め方を変えていくと、生徒の意見は出てくるものです」

まず重要なことは、「教室形式をやること」と福島先生。

「思春期は特に、周囲の人にどう思われるかを非常に意識します。そんな生徒にいきなり40人の前で意見を言えというのが無理というもの。まずは、教室の単位を分割して、隣の人と意見を出し合うという小さな単位から始める。その次に班、そして全体へと、徐々にシェアをしていくことが大事です(コラム1)」

全員の意見を付箋などで貼り出していくのもいいだろう。そうやって全体で意見を発散していくと、最終的に多数決などで決まったりしても「話し合いのプロセス」が生徒全員に見える。全員が参加したという納得感もモチベーションも高まる。

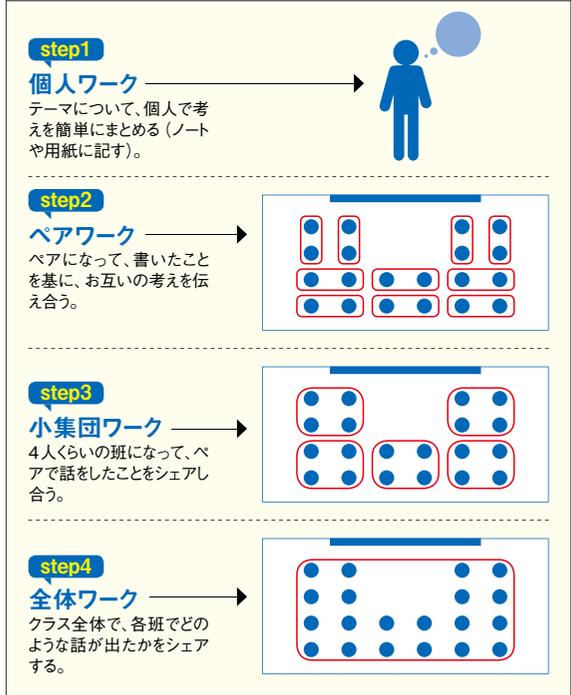
このようなフラットな関係での話し合いのためには、前提となるグラウンドルール(コラム2)も不可欠だ。

「グラウンドルールは、3つくらいでシンプルなものがいいと思います。それを目立つところに板書するなどして、常に意識できるようにしたいですね」

話し合いの内容ではなく態度や状態を振り返る

これらの話し合いを、学校行事の際

コラム1 話し合いの進め方



コラム2 話し合いのためのグラウンドルール

- 「自分を尊重する」
自分の考えを大切に、言いたいことを言う(言いたくないことは言わなくてもよい)。
- 「他人を尊重する」
聴く姿勢が大事。相手を尊重し、もしも反対意見がある場合は、批判だけではなく対案を出すように心がける。
- 「話した内容はこの場限り」
話し合いで出た内容は、その場だけのこと。ほかの時間や日常で、ここの話をもち出し引きずらない。

コラム3 振り返りのためのシート

話し合いの振り返りシート

振り返ることから上手な話し合いにつながります

振り返りポイント1 「話し合いのグラウンドルールは守れましたか?」
あてはまるあたりに数直線上に○をつけてみましょう。

①自分の意見(言いたいことを発言できたか、言いたくないことや反則についてNOと言えたか) 守れなかった 守れた

②相手の意見(相手の意見にきちんと耳を傾けたか) 守れなかった 守れた

③守秘義務(誰かの話し合いの内容についてこの場限りとして、あとから話などを言わなかった) 守れなかった 守れた

振り返りポイント2 「今回の話し合いの活動全体を通して、あなたにとってできた点、および今後改善すべき点は何か?」
できた点(例:「他人の意見をよく聴くことができた」等)

今後改善すべき点

振り返りポイント3 「前回の話し合いと比べて進歩した点や気づき」

元千葉県・東葛飾高校教諭
福島毅先生
23年間、高校教諭として、生徒のモチベーションアップや自主的な活動を促す授業・クラス運営で活躍。現在はさまざまなワークショップのファシリテーターや大学でのキャリアデザイン講義など幅広く活動中。

福島先生オススメ
話し合いの場を作るための参考図書

【ファシリテーション入門】
堀公俊著 日経文庫

【教育研修ファシリテーター】
堀公俊・加留部貴行著 日本経済新聞出版社

【よくわかる学級ファシリテーション】
岩瀬直樹・ちよんせいこ著 解放出版社

【元気になる会議-ホワイトボード・ミーティングのすすめ方】
ちよんせいこ著 解放出版社

「日本ファシリテーション協会初代会長でもある堀公俊氏は、ファシリテーションを非常にわかりやすく解説しています。『よくわかる学級ファシリテーション』は、小学校の現場向けに書かれていますが、クラス担任にとってはとても参考になる内容で、同書の著者でもある、ちよんせいこ氏の『元気になる会議』は、ファシリテーションの即実践に役立ちます」(福島先生)

みんなのオンライン予備校

受験サプリー

受験勉強に役立つツールが盛りたくさん。
「大学入試過去問」や「センター問題集」などのツールを無料で利用できます。さらに、月額980円で学年別・レベル別の講義動画も見放題。

100大学の過去問、やり放題!
大学の過去問がPDF形式で無料ダウンロードできます。国公立・私立、学部・学科ごとに掲載されているので、志望校の受験対策に最適。

センター問題集、最新5年分やり放題!
丁寧な解答・解説がついたセンター試験の最新5年分・15科目の過去問題集。一問一答形式なので、一つひとつ着実に進めていくことができます。

月額980円で、プロ講師の授業が受け放題!
参考書1冊分の価格で高品質な動画による授業が受けられます。パソコンやスマホ、タブレットでいつでもどこでも受講できます。

受験サプリーのサービスを高校で一括導入していただくことが可能です。ご利用人数に応じた高校導入特別価格をご用意しております。受験指導の強化、指導体制の構築、自主学習環境の改善にぜひご利用ください。

登録はパソコン・スマートフォンから! <http://jyukensapuri.jp/>